

島野さん 辞職して下さい

編集、仏教徒通信、2011年 1月 3日

クアラ ルムプール、マレーシア - 仏教徒の寺院には伝統として絶対に犯してはならない4項目の戒律があります。パラジカ（サンキスト語：違反、脱落）とってこの戒を犯すと終生 僧伽から除名されます。もし、僧がこのうち一つでも戒を破った場合、即刻自動的に聖なる生命が脱落したという事で僧としての地位も失います。

彼は生涯2度と再び僧の地位に戻ることは出来ません。趣旨はこの4つの戒はいずれも絶対に犯すべからざる違反行為だからです。僧の4戒とは：

1. 性交、これは僧と生命を有する人間または他の生き物との間における任意による性交を意味し、口と口の交わりはサンガデイシサの範疇にはいりません。サンガデイシサとは僧伽における13戒と言うもので、これを犯した僧は懲戒処分、執行猶予を受け本人の懺悔が見えた場合、20人以上の僧の証を得て復職が可能となります。
2. 盗むこと、1/24トロイよりも高価な金を盗んだ場合（地域の法にもとづく）
3. 自発的に人間を死にいたらしめること、此の場合胎児も含む -暗殺をはかる場合、殺人を奨励した場合、死を好ましいものと言って進める事もこの範疇にはいりません。
4. 嘘としりながら、人を、悟りを開いた超人的な境地にある羅漢であると言ひ、解脱の境地にある人物であると言ひすること。（参照：<http://en.wikipedia.org/wiki/Patimokkha>）

勿論、臨済 曹洞の禅の宗派における従来の考え方によれば、戒律は僧伽形成をなすものではなく上記の4戒は見られません。

しかしながら、これらの宗派の禅師等は-老師という肩書きを持つ者の当然の資格として- 袈裟を着用し、このことは仏道修行者のみとめるところです。結局禅修行の目的は、黙想と仏の教えを修行することによって各々の中に仏性を自覚することであり他の宗派と変わりありません。

これらの禅師等が一旦寺を出、自らの黙想する聖域を出て国境を越えるとそこはその地区特有の仏教が行われているのですが、人々は地元の僧同様に尊敬の念をもって挨拶をするでしょう。

禅であっても古来のセラヴァダ（パリ語：古代の長老、今日存在する唯一の小乗仏教）であっても僧はすべての人々から”尊とぶべき存在”と敬われ、在家の

人々は合掌して伏し拝むのです。 人々は袈裟をみて敬うのですが、袈裟こそが戒律と真理と達磨の教義に誓いをたてた人の具現したものとして尊敬の対象になるのです。

そしてこの袈裟をつけた人は達磨の代弁者となり、大衆は心から彼の言葉に耳をかたむけるのです。 聞く人にとってこの言葉は単なる話ではなく達磨の教えとなるのです。-真理なるこの言葉はやがて聞く人の霊的自覚へと進展して行くでしょう。

東南アジア、東アジアを旅行される禅師はどなたもがこのことを証明するでしょう。 ここで、私達はアメリカの長老として尊敬を受けている島野栄道に関する一件を思い起こします。

以下は、マーク オッペンハイマー通信員により 2010年8月20日ニューヨーク タイムスに掲載された記事の抜粋です。

島野氏、現在77歳、1965年以来 禅スタディ ソサイエティ (禅教団：<http://www.daibosatsu.org/>) の住持、妻帯者であるにもかかわらずこの間殆どの期間、女弟子または他の女性達との性関係、不行跡の流言がたえませんでした。 この流言は2008年 マノアにあるハワイ大学がロバート エイトケン老師 (1917-2010、アメリカ仏教界で指導的な存在、ブデリスト ピース フェロウシップ - <http://www.bpf.org/> - の創立者) 寄贈になる書簡を開封、島野氏の不行跡に関する流言が決定的なものとして表面化しました。

以下は文書の一部

([http://www.thezensite.com/ZenEssays/CriticalZen/Aitken\\_Shimano\\_Letters.html](http://www.thezensite.com/ZenEssays/CriticalZen/Aitken_Shimano_Letters.html))

エイトケン老師が島野氏について1964年から2003年まで書き記録したもので、エイトケン老師は昨年8月5日に亡なれましたが、1960年代この2人はハワイで共に働き、以来40年に渡る島野氏の不行跡を被害者の女性達の告白をもとに書き続けたものです。

エイトケン文書はすぐにインターネットを通じて全米へ循環され、1010年7月19日“僧の不行跡”を追求された禅教団は、島野氏は理事会を引退したと発表しました。 この表明は仏教雑誌トライシクルの質問追求に答えたもので、雑誌社宛に送られたのですが、この引退声明もインターネットを通じて全米へ循環されました。

([http://www.shimanoarchive.com/PDFs/20100907\\_Shmano\\_Sanga.pdf](http://www.shimanoarchive.com/PDFs/20100907_Shmano_Sanga.pdf)).

そしてこの事件の驚くべき展開は、2010年12月1日、ニューヨーク タイムズ宛に島野氏は書状を送り、すべて僧不行跡なる告発の結果によるものであるから引退は撤回するというのです。彼のニューヨーク タイムズ宛の書状はここでご覧になれます。

([http://www.shimanoarchive.com/PDFs/20101201\\_Simano\\_NYT.pdf](http://www.shimanoarchive.com/PDFs/20101201_Simano_NYT.pdf)).

ねじ曲がり、転回を続けるこの物語は島野氏の精神不安定を証明しています。インターネットのお陰で多くの情報が大衆の目に届きました。さらに明らかな事は、これらすべての情報は、袈裟をつけた人間による害悪の振る舞いという1点に落ち着く事です。最近の数々の成り行き、島野氏の理解に苦しむ愚かな言動、引退の拒否は、彼のすべてを顕著に物語っているといえましょう。

この期に及んで、これはもはや島野氏個人の論点ではなく、禅教団組織内部にこそ問題が存在するという事を会員の一人一人が理解しなければなりません。此の事件の中心人物なるものが高名な仏教の師であり、彼は有名仏教徒としてその名を連ねています。

([http://en.wikipedia.org/wiki/List\\_of\\_Buddhist#Zen\\_teachers](http://en.wikipedia.org/wiki/List_of_Buddhist#Zen_teachers)).

彼は袈裟を着ており、未だ彼の言葉は影響力があるようです。島野氏は尊敬に値する人物ではないことは明瞭でも、袈裟を着用している人物であるというだけで世界中の人々から尊敬されます。著名な仏教徒である事により自らに負い、達磨に負い、さらにそれ以上にすべての直接、間接に彼によって傷つけられた人々に負い、これだけははっきりさせなければなりません。

そして、もし彼が真に仏陀達磨の知恵を信じ、悟りの達成を何よりも願うならば、私達は彼がここで初めて正しい事を行うよう祈りましょう。

今の島野氏、栄道老師は霊的には死人です。  
島野さん、仏陀達磨の名に置いて我々は貴方が正しい事をなさるよう懇願します。

島野さん、どうか辞職して下さい。